

# 熊本県内経済情勢報告

令和5年7月

財務省九州財務局



(問い合わせ先)


財務省九州財務局経済調査課

TEL 096-353-6351 (代表)

096-353-6354 (夜間直通)

## 1. 総論

### 【総括判断】「県内経済は、緩やかに回復している」







項目	前回（5年4月判断）	今回（5年7月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復している	

（注）5年7月判断は、前回4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

#### （判断の要点）

個人消費は、物価上昇の影響もみられるものの、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付け変更などを背景として、回復しつつある。生産活動は、半導体関連の需要に落ち着きがみられるなど、拡大の動きに一服感がみられる。雇用情勢は、持ち直している。

#### 【各項目の判断】

項目	前回（5年4月判断）	今回（5年7月判断）	前回比較
個人消費	持ち直している	回復しつつある	
生産活動	拡大の動きに一服感がみられる	拡大の動きに一服感がみられる	
雇用情勢	持ち直している	持ち直している	
設備投資	4年度は増加見込み	5年度は減少見込み	
企業収益	4年度は増益見込み	5年度は増益見込み	
住宅建設	持ち直しつつある	持ち直している	

#### 【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、回復していくことが期待される。ただし、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

## 2. 各論

### 【主な項目】

#### ■ 個人消費 「回復しつつある」

百貨店・スーパー販売は、物価上昇の影響もみられるものの、外出機会の増加により衣料品や身の回り品が堅調なことから、回復しつつある。コンビニエンスストア販売は、観光地周辺や繁華街の店舗を中心に好調である。ドラッグストア販売は、食料品や化粧品を中心に好調である。ホームセンター販売は、日用品などの動きが鈍いことから、弱含んでいる。家電大型専門店販売は、節電効果の高い製品への買い替え需要が続いているものの、弱い動きとなっている。乗用車の新車販売は、納期の改善がみられ、持ち直している。宿泊は、人流の活発化などにより、回復しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 食料品の値上げが続いており、買物点数の減少も一時期みられたが、足下での影響は限定的。(百貨店・スーパー)
- 脱マスクの動きから化粧品の売上が伸びており、特に高級品が売れている。外国人客はコロナ禍前の半数程度まで戻っており、特に台湾からの観光客が多い。(百貨店・スーパー)
- 土産物販売は対前年比で3割増加している。九州内からの顧客はコロナ禍前まで戻っており、遠距離からの顧客は9割まで回復している。外国人はTSMC関連と思われるビジネス客や観光客を中心に増加している。(大型商業施設)
- 行楽需要が回復したため、観光地周辺の店舗の売上増加が顕著であるほか、大学周辺の店舗でも対面授業の増加に伴い売上が増加している。(コンビニエンスストア)
- 値上げの影響により客単価は上昇しているが、節約志向もあって一人当たりの購入点数が減っており、売上が減少している。(ホームセンター)
- 省エネ性能の高い製品は堅調に推移しているが、旅行などへの消費シフトにより厳しい状況。(家電大型専門店)
- 新型コロナウイルス感染症の5類移行の影響もあり、宿泊状況は平日も含めて概ね好調。インバウンドはアジア圏からが多いが、欧米からの旅行客も徐々に増えている。(宿泊業界団体)
- TSMCの進出に伴い熊本市内の宿泊需要が高まっており、宿泊単価が高騰しているにもかかわらず、かなり逼迫している。7月以降スポーツの国際大会も開催される予定であり、宿泊需要はさらに高まる見込み。(公的機関)
- これまで宴会を控えていた年配客も増えてきており、同窓会など規模の大きい宴会も開催されるようになった。繁華街の人出は大幅に増えており、5類移行後の消費者の意識の変化を感じる。(飲食業界団体)
- 7月の宿泊は、大雨の影響によりキャンセルが発生したため稼働率が若干落ちているが、8月の予約状況は前年に比べて好調。接客係の不足により、レストランの営業に支障が出ている。(宿泊施設)

#### ■ 生産活動 「拡大の動きに一服感がみられる」

食料品等は、外食向け需要の増加などにより、持ち直しつつある。汎用・生産用機械は、増加傾向に一服感がみられる。電子部品・デバイスは、高水準を維持している。化学は、横ばいの状況にある。輸送機械は、回復しつつある。

- 酒類については、行動制限がないこともあり、外食向け需要はコロナ禍前の水準に戻りつつある。一方、量販店向けは、外食向け需要の回復に伴う需要低下を想定していたが、販促活動の効果もあって変動はみられない。(食料品等)
- 生産水準は高いものの、パソコンやスマートフォン市場の低迷などにより取引先が設備投資の見直しを行っているため、前年よりは生産水準を落としている。(汎用・生産用機械)
- 海外経済の減速の影響がみられるものの、高付加価値製品を中心に高い生産水準を維持している。(電子部品・デバイス)
- 不足が生じていた部品が計画通り調達できるようになったため、5月以降は100%の稼働率で生産を続けている。当面はこの状況が続く見込み。(輸送機械)

#### ■ 雇用情勢 「持ち直している」

有効求人倍率は、このところ低下している。新規求人数は、製造業は前年を下回っているものの、小売業、宿泊業などで前年を上回っている。

- 世界的に半導体が生産調整局面にあるため、半導体関連産業で求人が減少している。(公的機関)
- 宿泊施設の客室稼働率が上がったことにより、清掃サービス会社からの求人が増えている。(公的機関)
- 宴会需要が戻ってきているが、コロナ禍で従業員を減らしたため人手不足となっている。アルバイトの時給を3割引き上げたものの補充できていない。(宿泊業)
- 物価高による生活費の負担増加により、賃金の高い会社やパートからフルタイムへ切り替える転職の動きがみられる。(公的機関)

■ 設備投資 「5年度は減少見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」 5年4～6月期

- 製造業では増加見込み、非製造業では減少見込みとなっている。

■ 企業収益 「5年度は増益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」 5年4～6月期

- 製造業、非製造業ともに増益見込みとなっている。

■ 住宅建設 「持ち直している」

- 新設住宅着工戸数(5年3～5月)をみると、持家は前年を下回っているものの、貸家及び分譲は前年を上回っている。

【その他の項目】

■ 企業の景況感 「現状判断は『下降』超」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」 5年4～6月期

- 5年4～6月期の景況判断BSIをみると、全産業では「下降」超となっている。先行き(全産業)をみると、5年7～9月期は「下降」超の見通しとなっている。

■ 公共事業

- 公共工事請負金額(5年4～6月累計)をみると、前年度を下回っている。

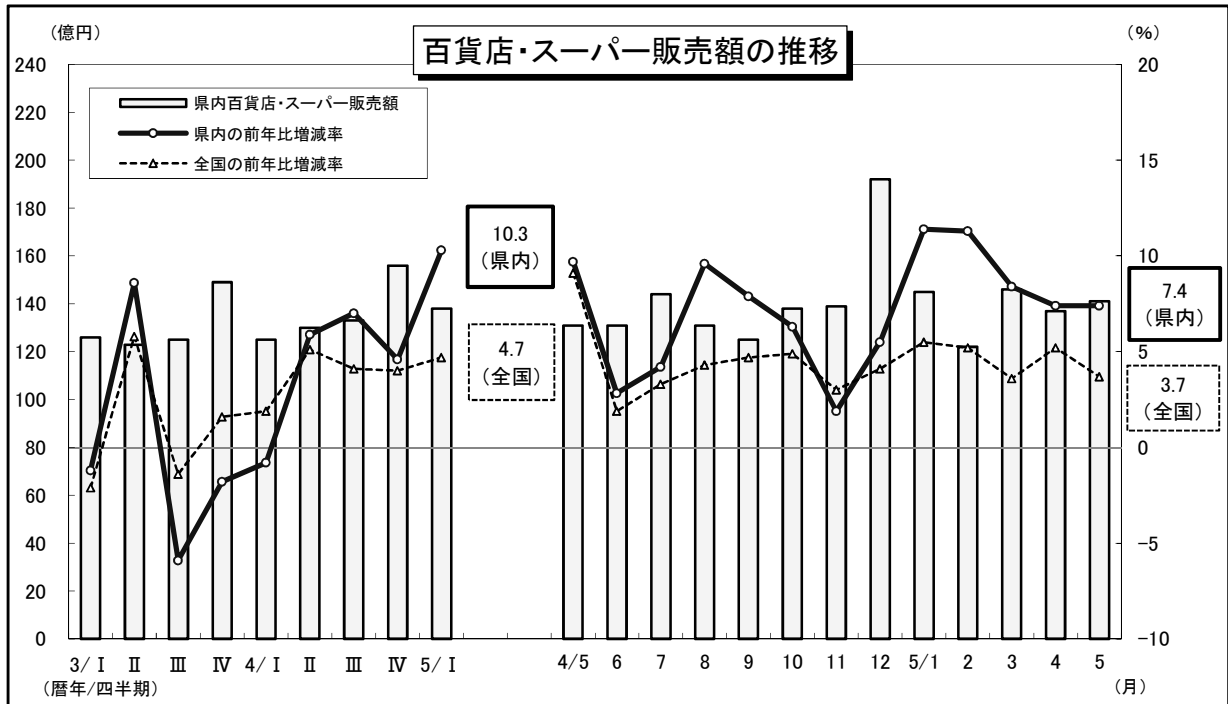
■ 倒産

- 企業倒産(5年4～6月期)は、件数は前年を上回り、負債総額は前年を下回っている。

## 【参 考 資 料】

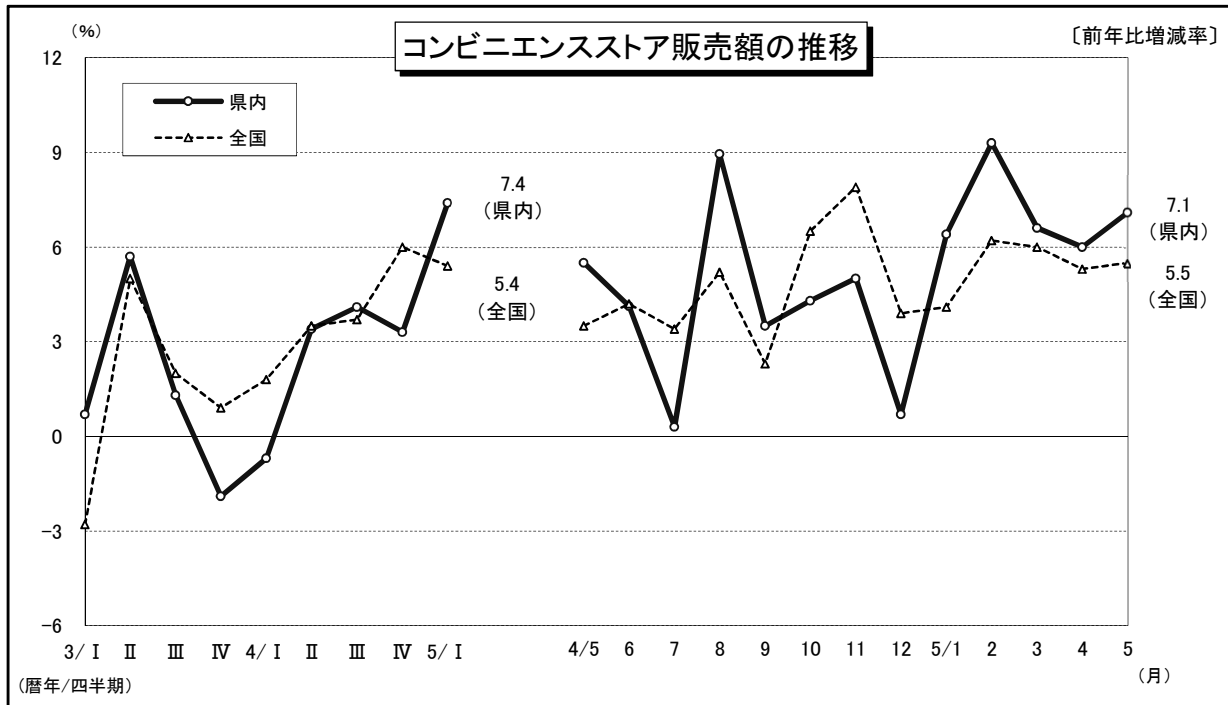
1. 個人消費 .....	参-1
2. 生産活動 .....	参-4
3. 雇用情勢 .....	参-5
4. 設備投資 .....	参-6
5. 企業収益 .....	参-6
6. 住宅建設 .....	参-7
7. 企業の景況感 .....	参-8
8. 公共事業 .....	参-9
9. 倒産 .....	参-10

# 1. 個人消費



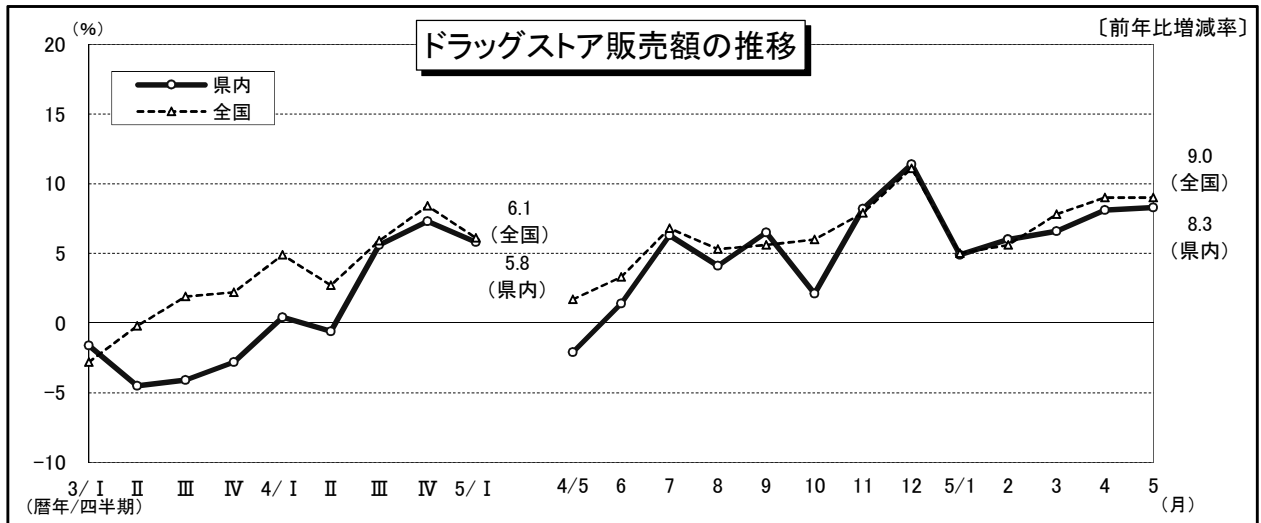
(注)全店ベース。四半期の棒グラフは月平均。

[資料:経済産業省]



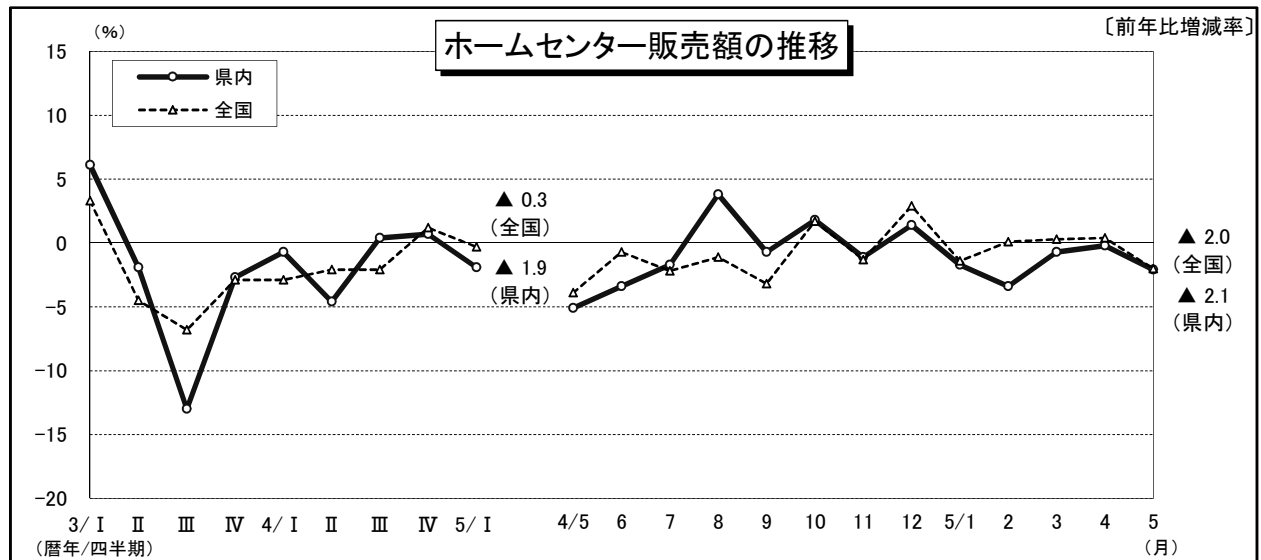
(注)全店ベース。

[資料:経済産業省]



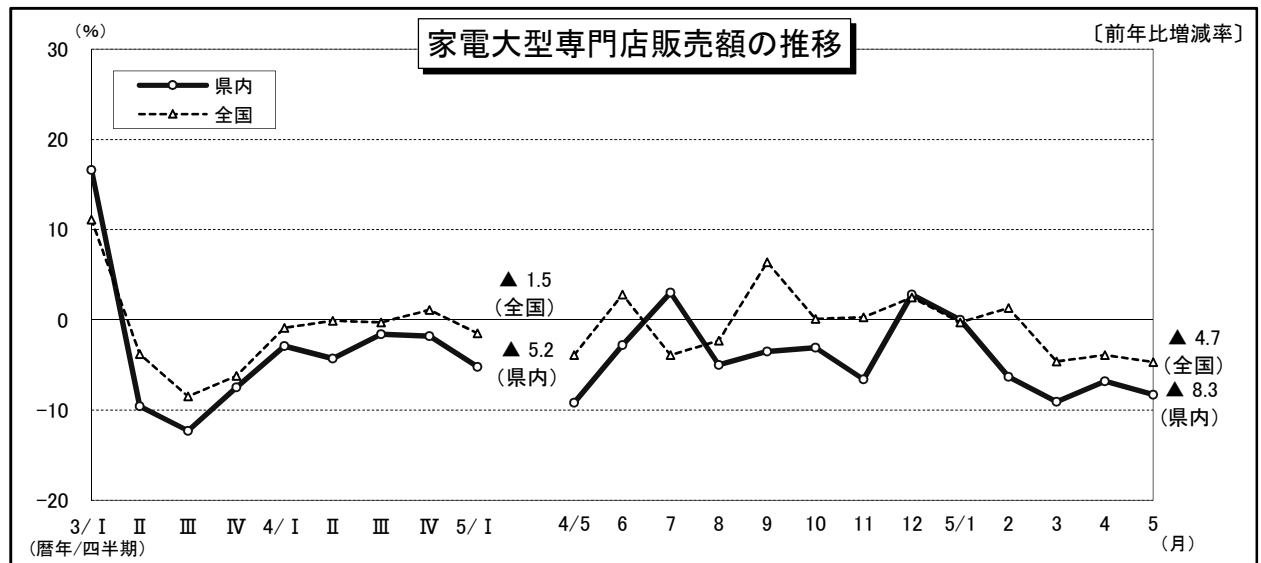
(注)全店ベース。

[資料:経済産業省]



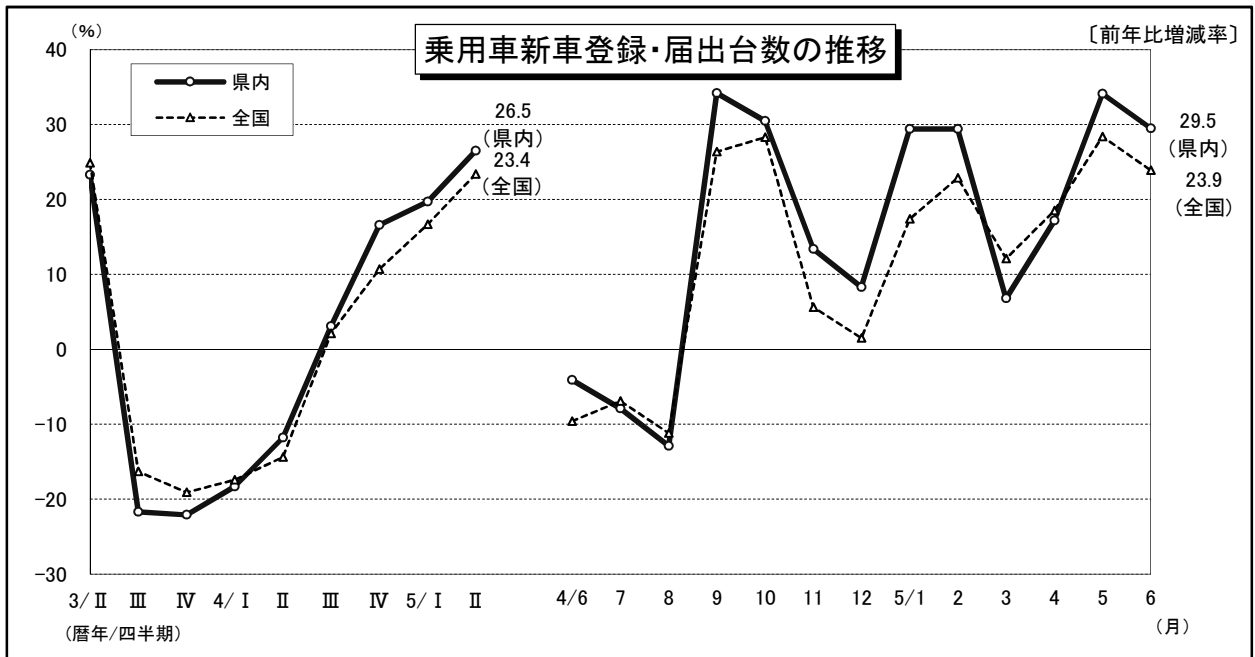
(注)全店ベース。

[資料:経済産業省]

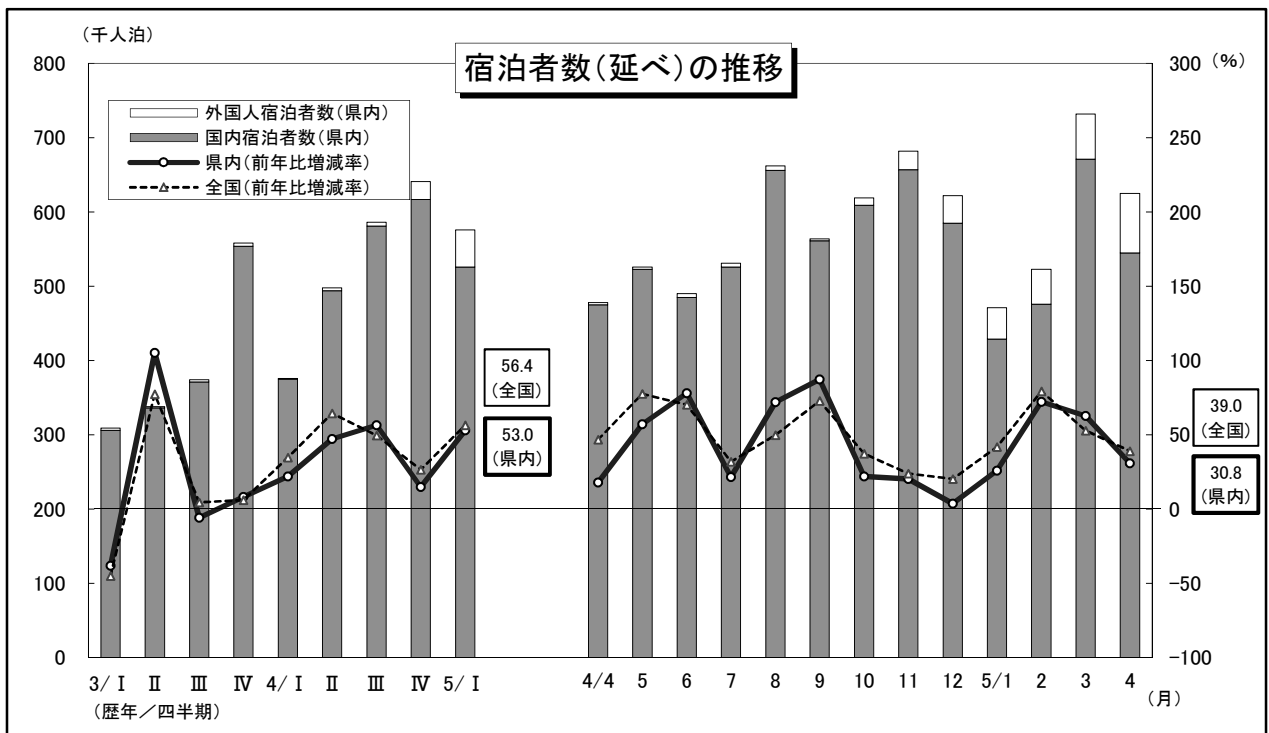


(注)全店ベース。

[資料:経済産業省]



[資料: 日本自動車販売協会連合会、熊本運輸支局及び全国軽自動車協会連合会]

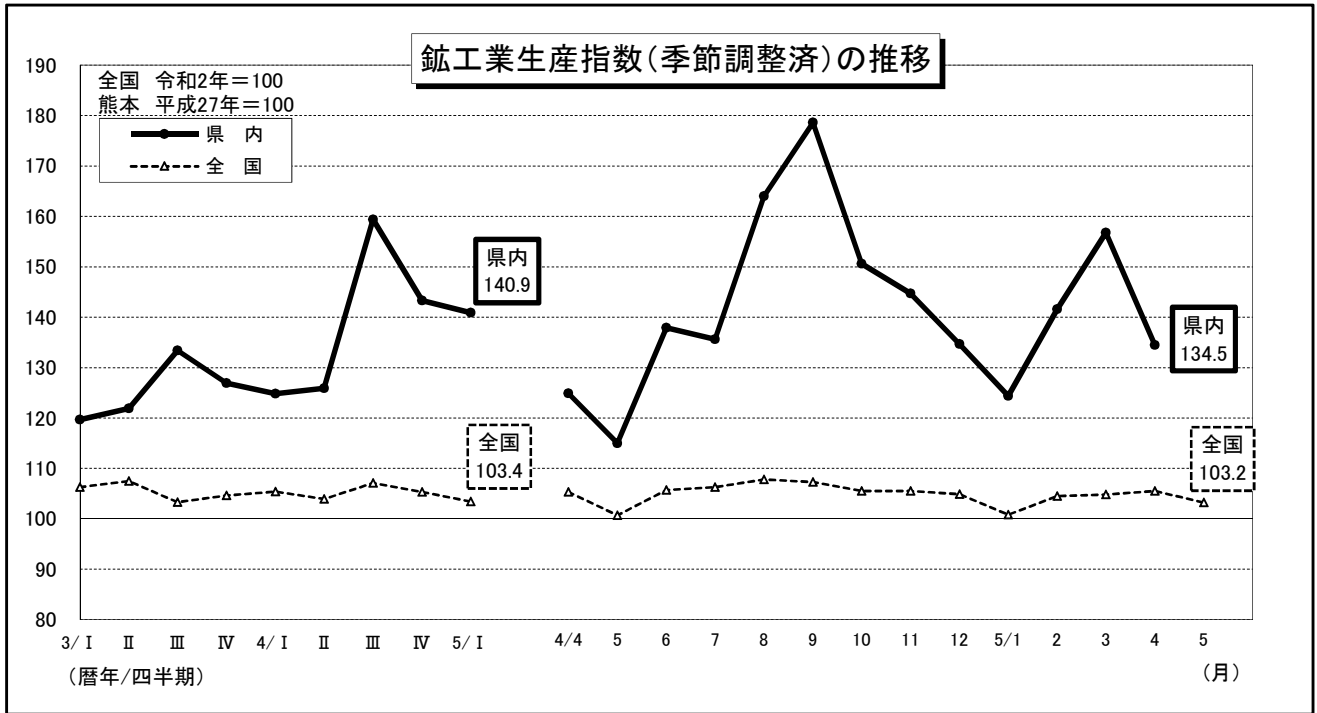


(注) 四半期の棒グラフは月平均。

[資料: 観光庁]

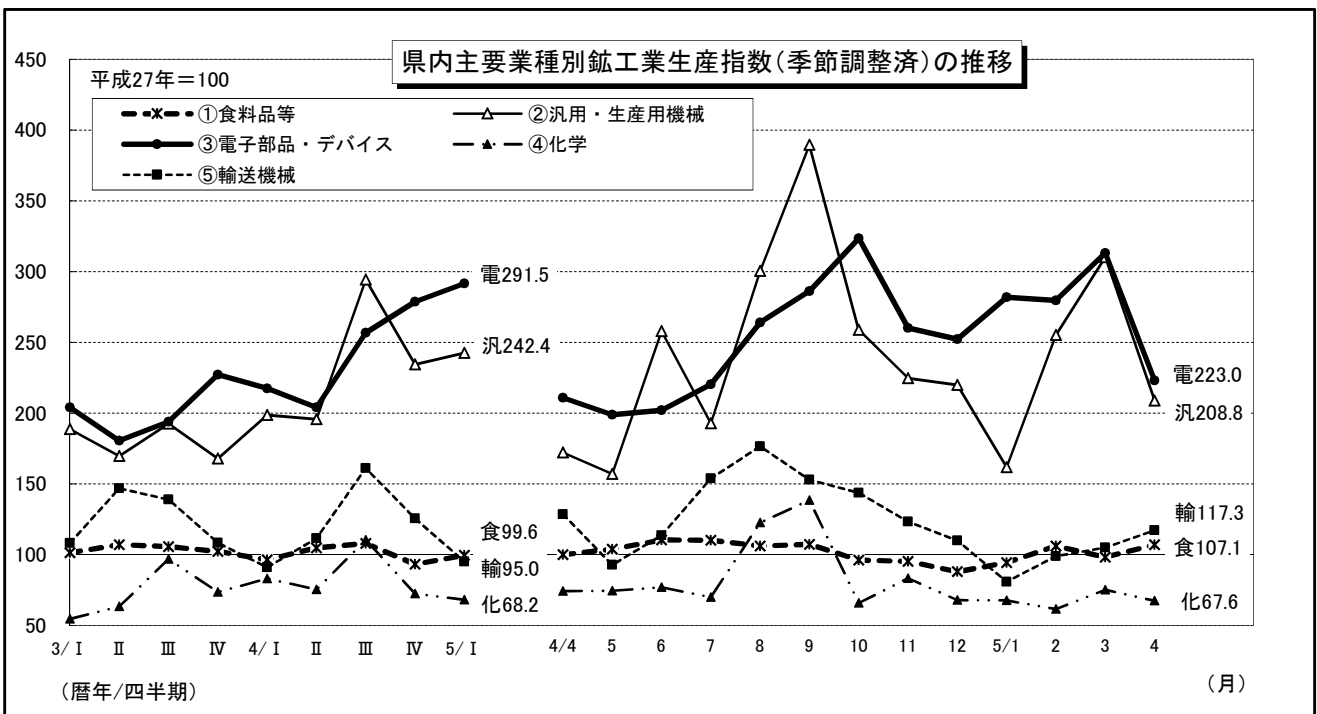


## 2. 生産活動



(注) 県内の5年4月は速報値。

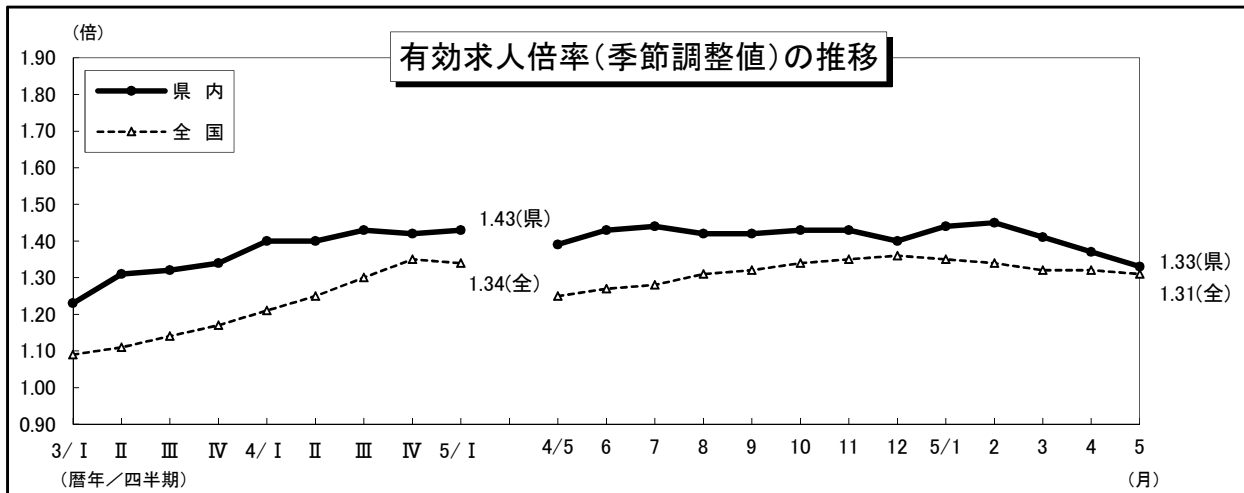
[資料: 経済産業省、熊本県]



(注) 1. 5年4月は速報値。  
2. ○数字は、県内におけるシェア順位。

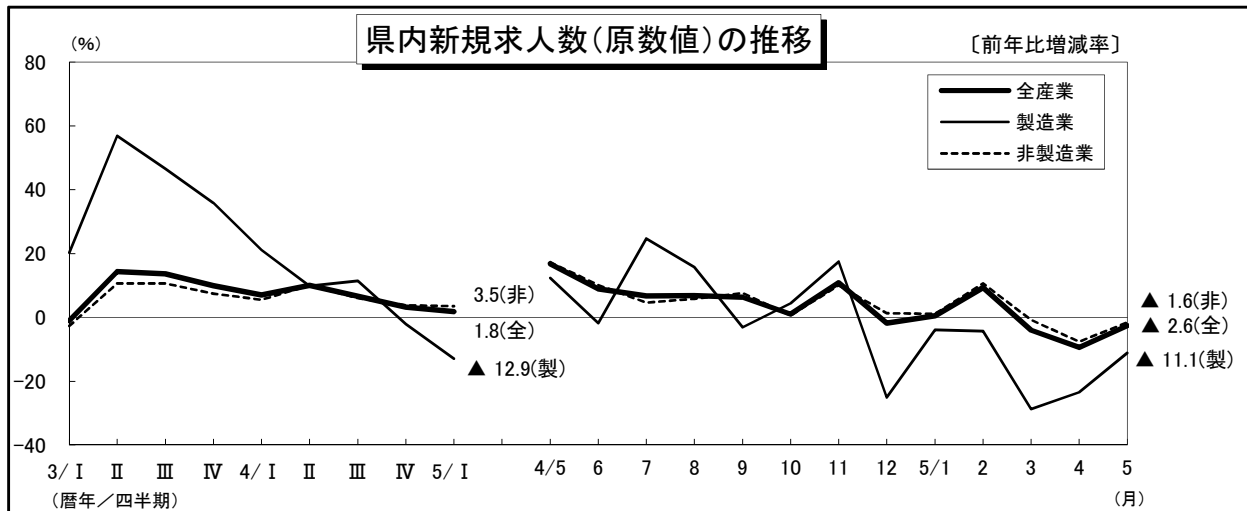
[資料: 熊本県]

### 3. 雇用情勢



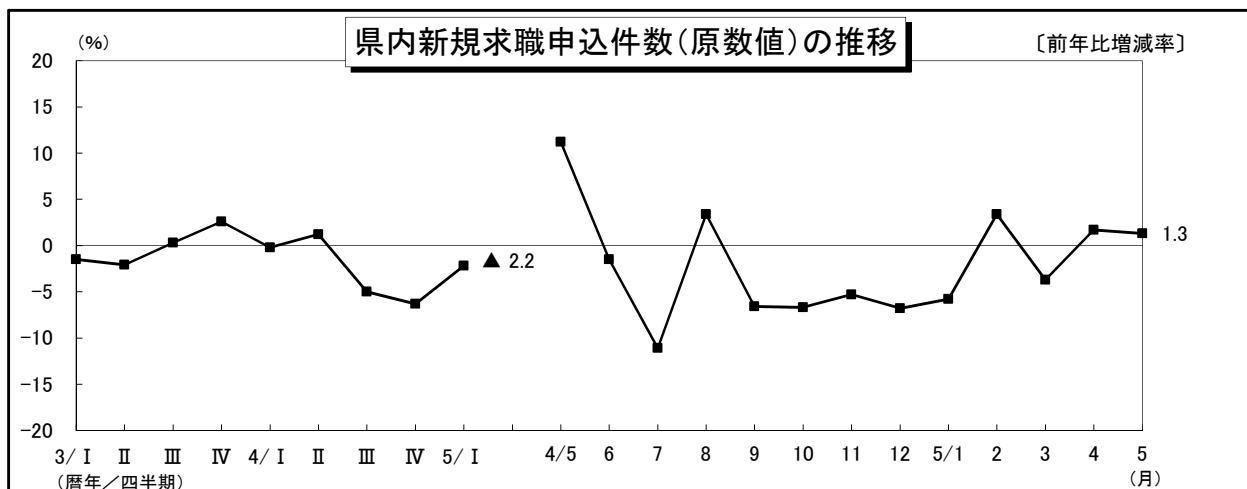
(注)パートを含む。

[資料:厚生労働省、熊本労働局]



(注)パートを含む。

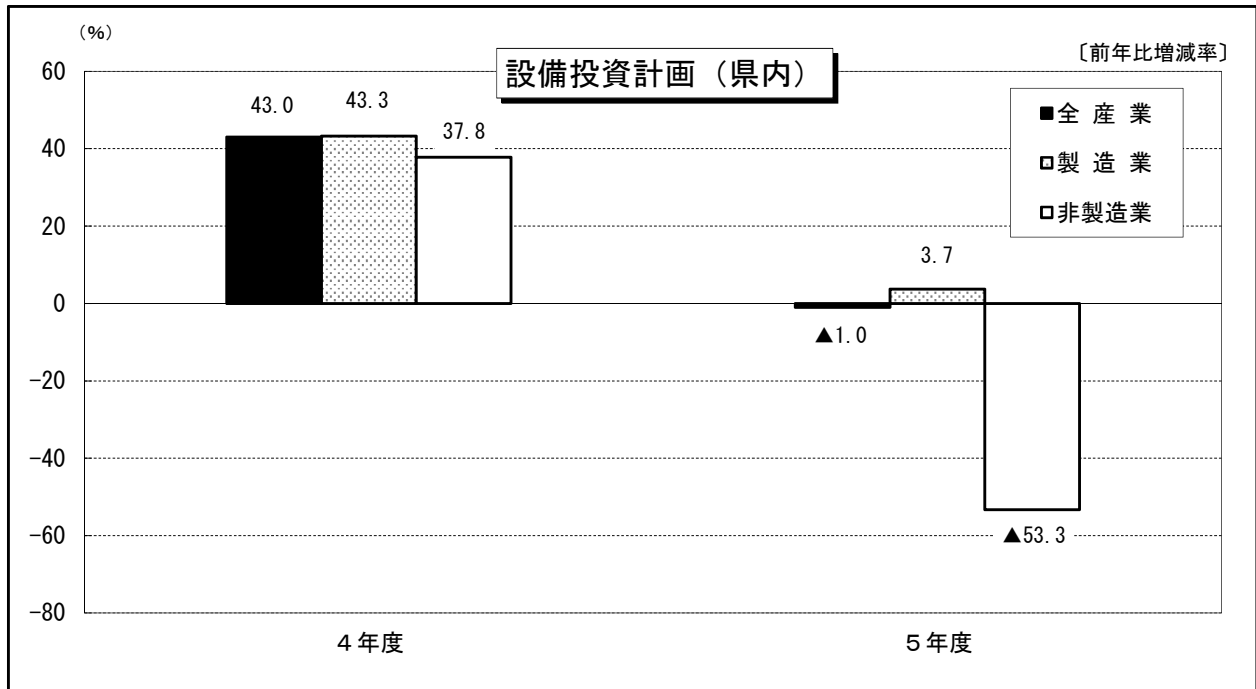
[資料:熊本労働局]



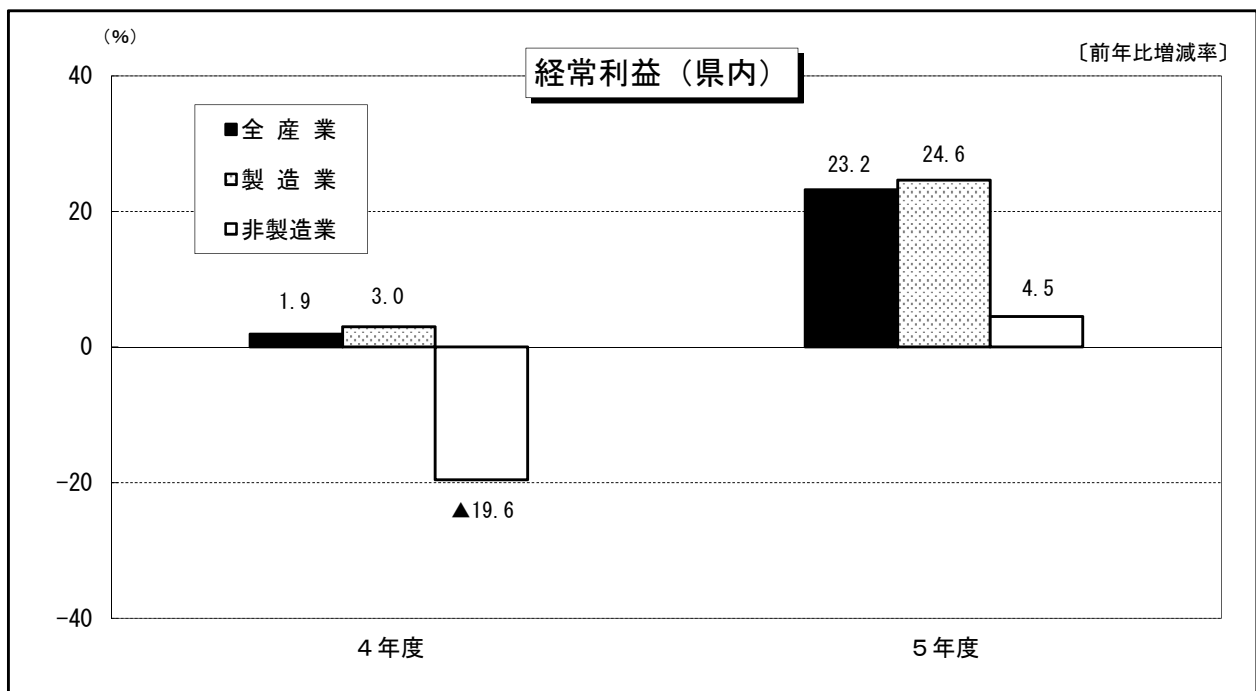
(注)パートを含む。

[資料:熊本労働局]

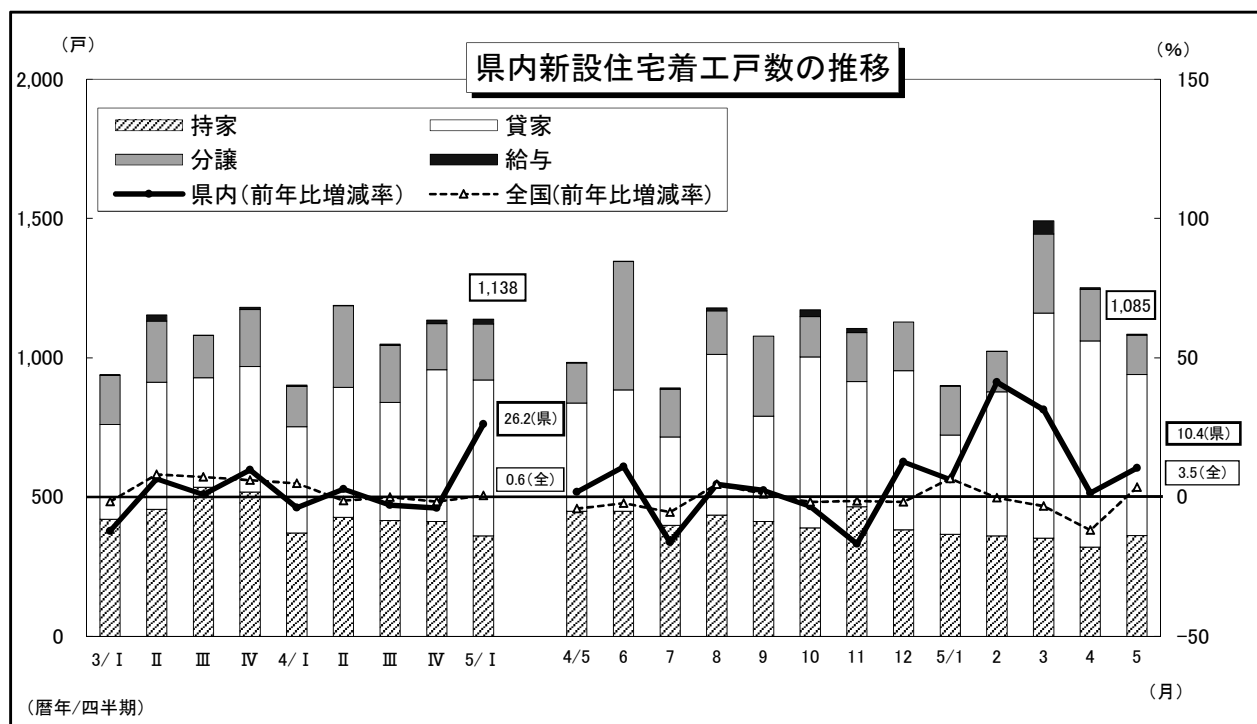
## 4. 設備投資



## 5. 企業収益

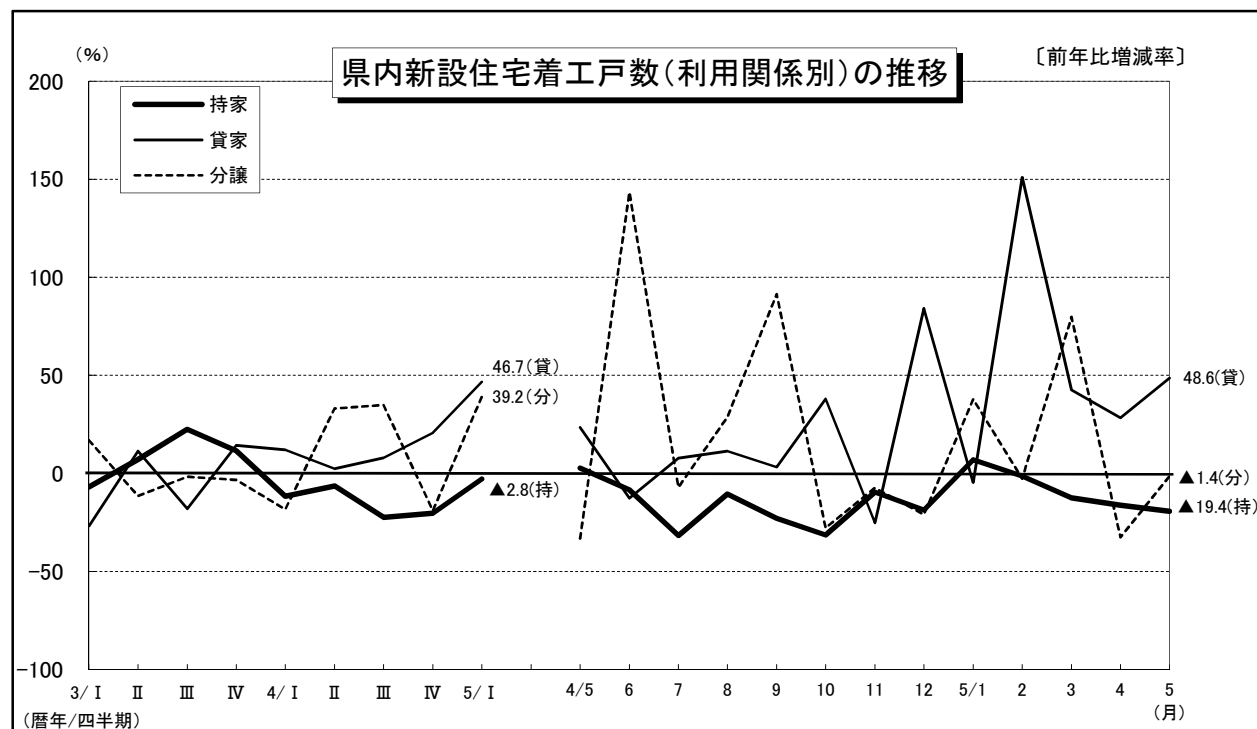


## 6. 住宅建設



(注) 四半期の棒グラフは月平均。

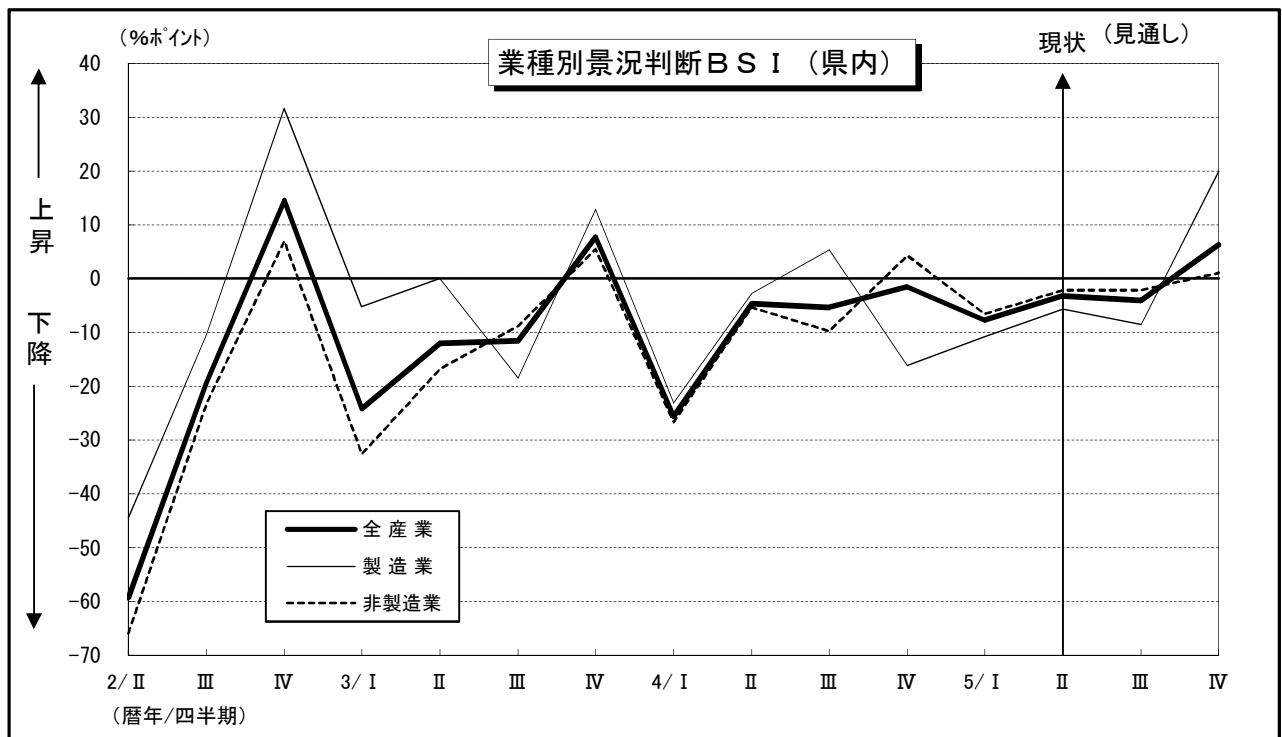
[資料: 国土交通省]



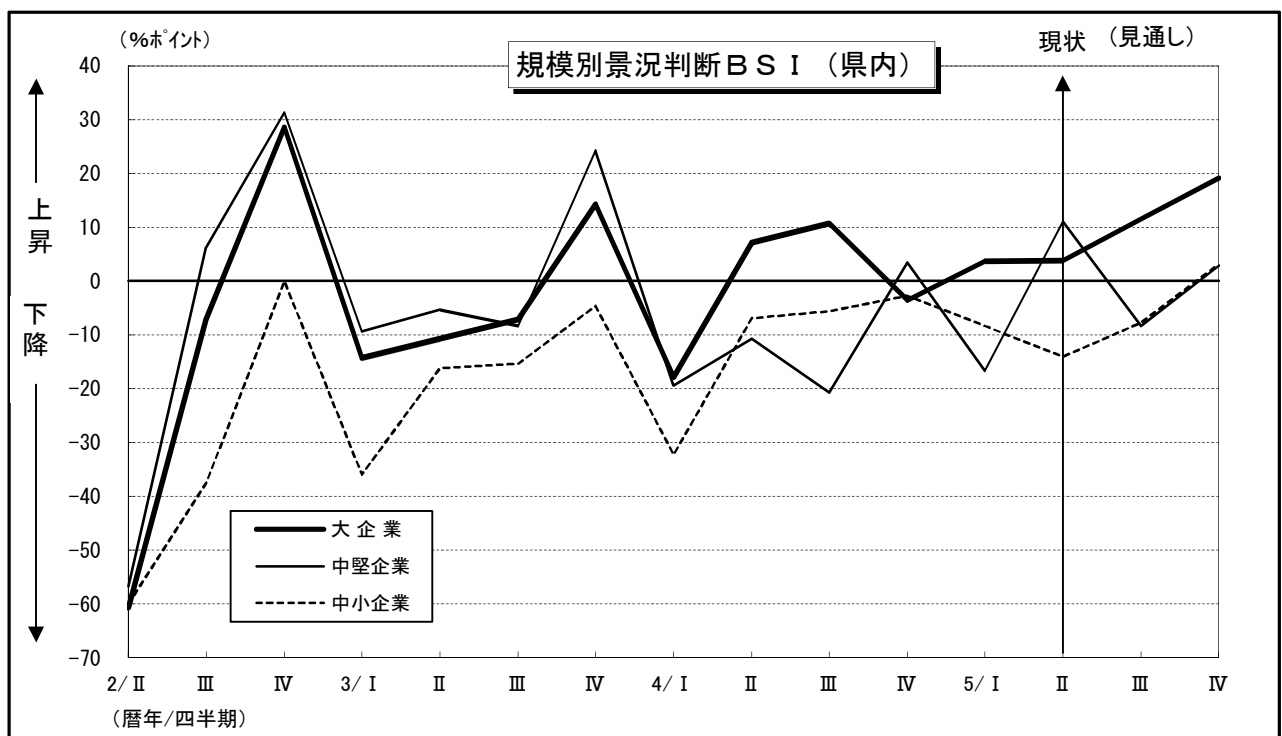
(注) 給与住宅については、些少であるため表記していない。

[資料: 国土交通省]

## 7. 企業の景況感

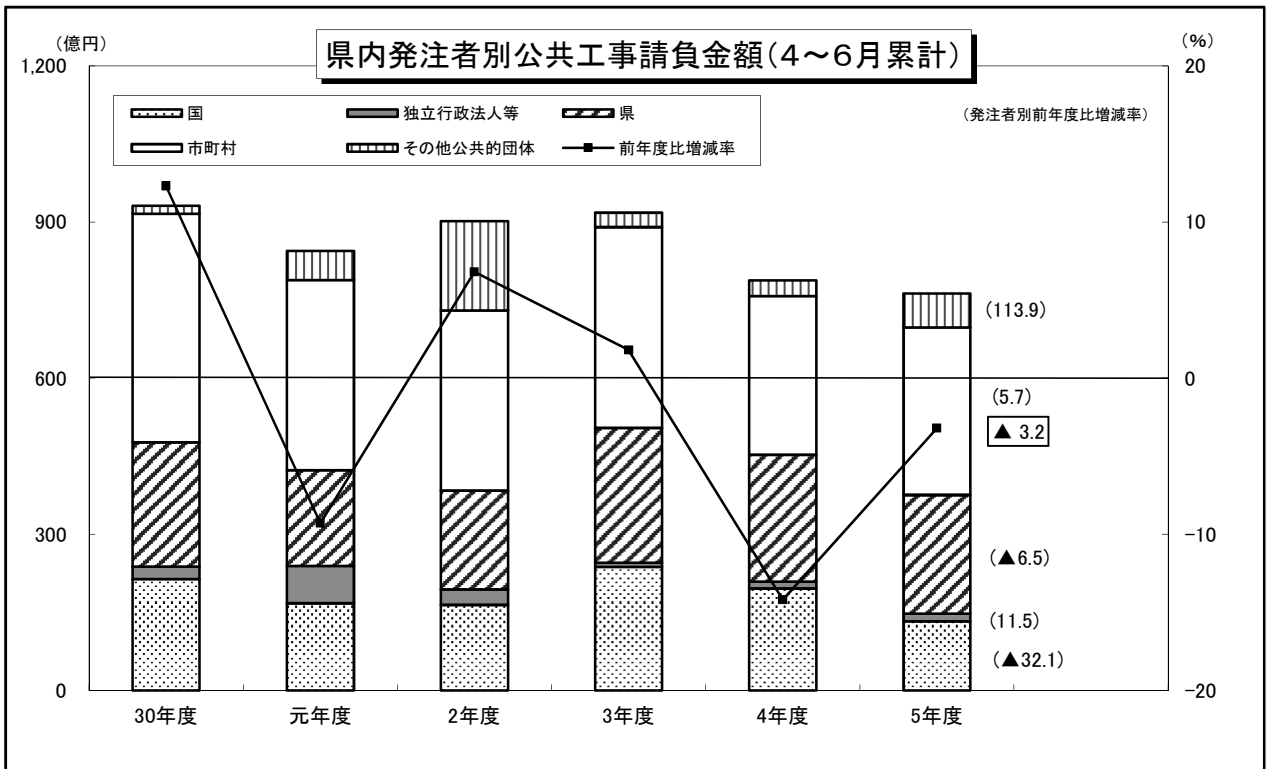


[資料:九州財務局(法人企業景気予測調査)]

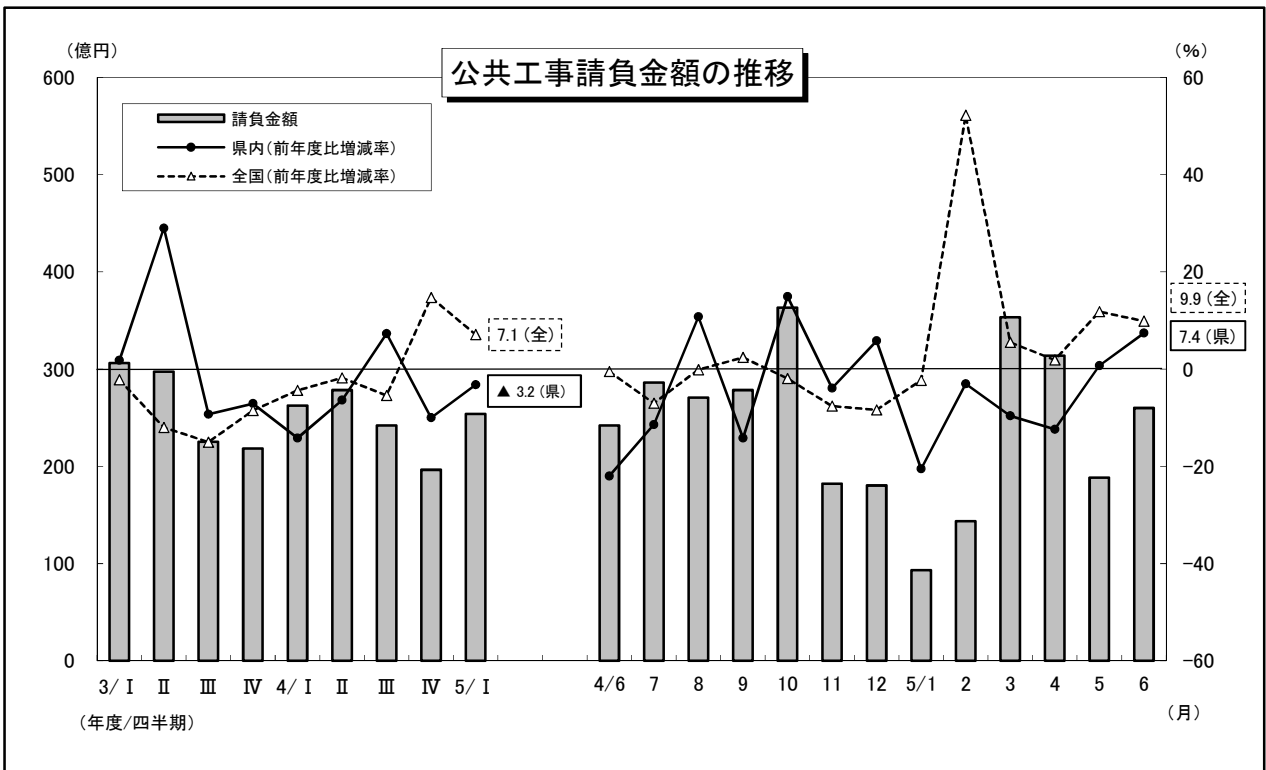


[資料:九州財務局(法人企業景気予測調査)]

## 8. 公共事業



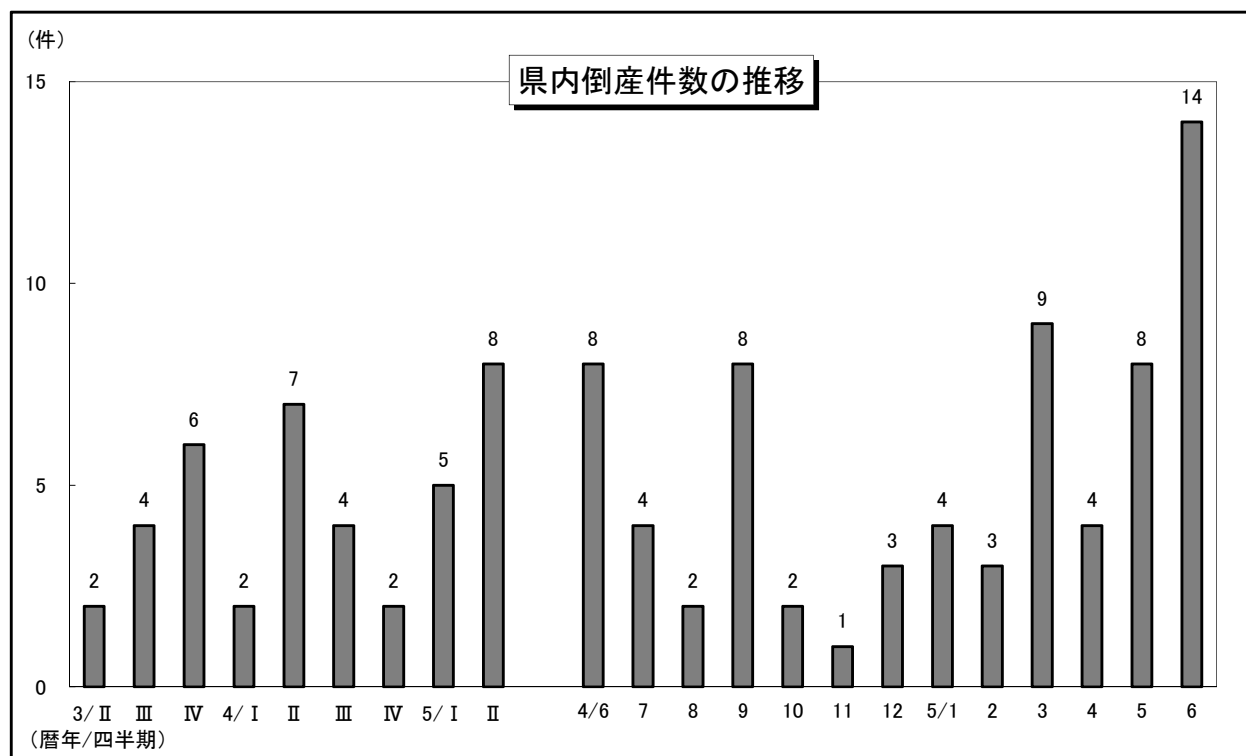
[資料:北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)]



(注)四半期の棒グラフは月平均。

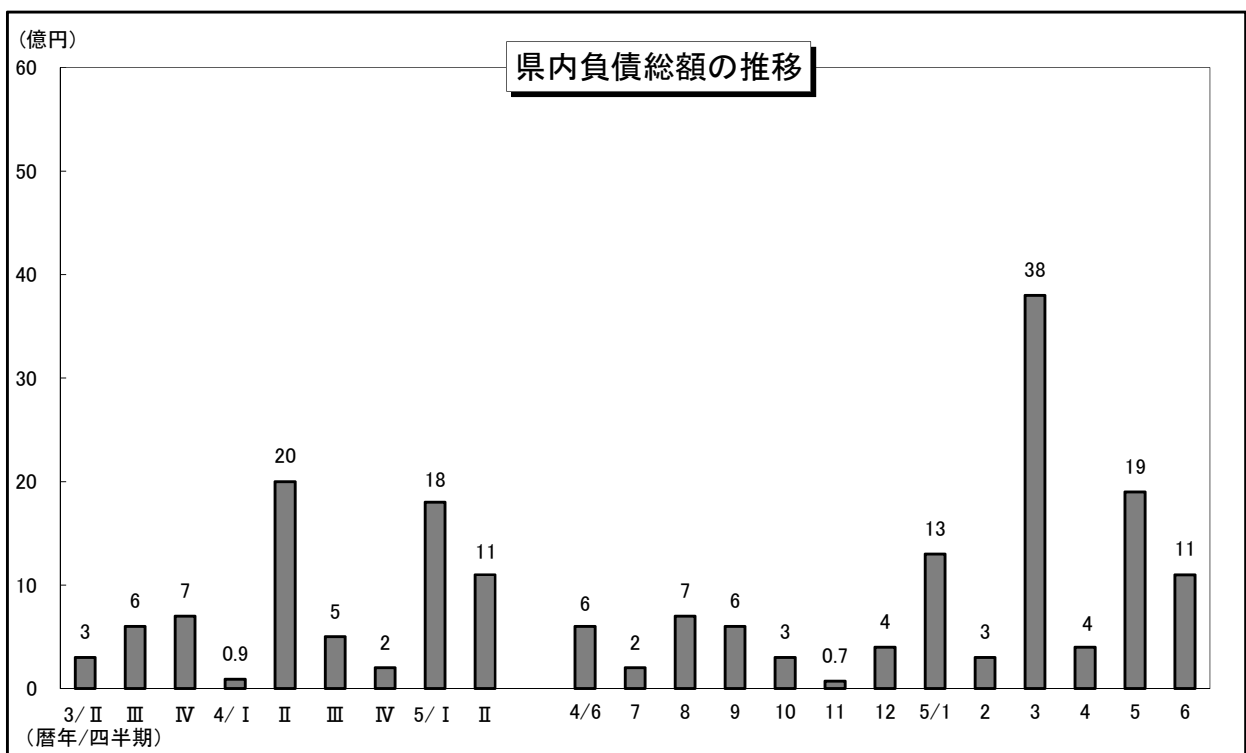
[資料:北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)]

## 9. 倒産



(注) 四半期の棒グラフは月平均。

[資料: 東京商工リサーチ]



(注) 四半期の棒グラフは月平均。

[資料: 東京商工リサーチ]